

平成 30 年住宅・土地統計調査

— 岡谷市分の結果の概要 —

総住宅数は 22,580 戸、1 世帯あたりの住宅数は 1.22 戸

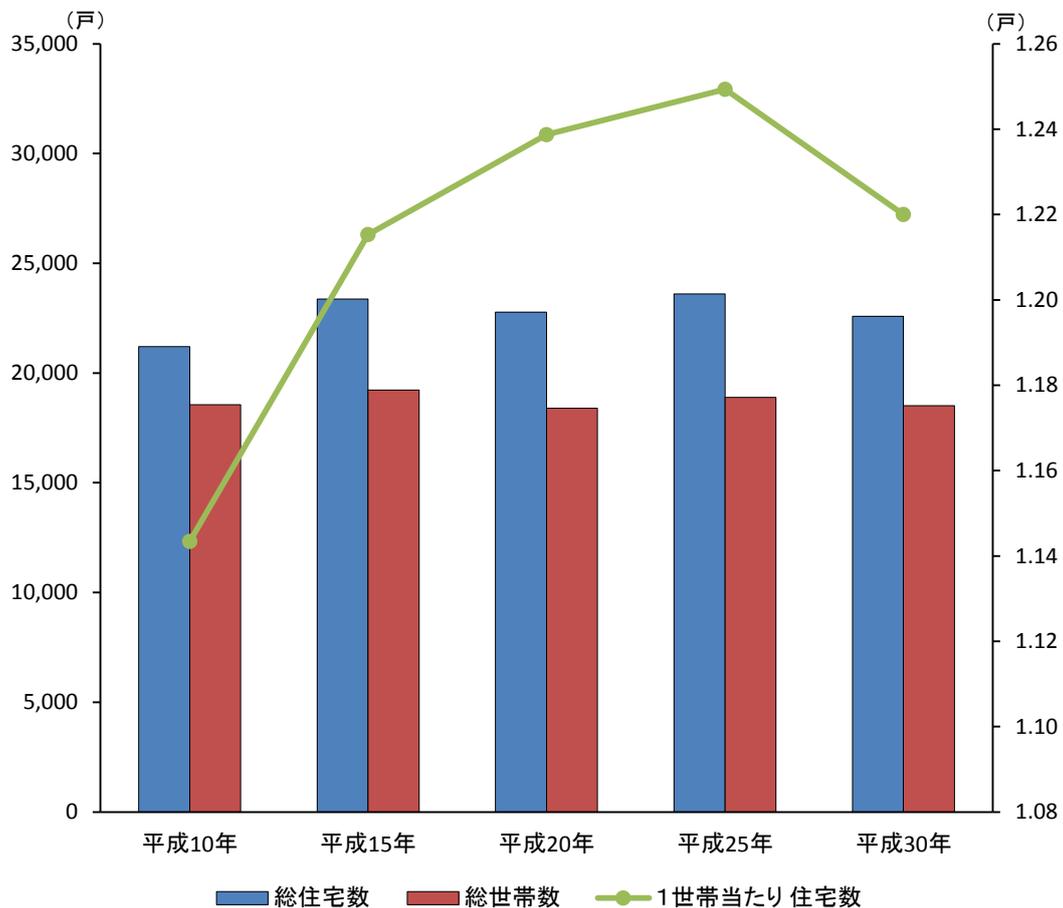
平成 30 年 10 月 1 日現在における岡谷市の総住宅数は、22,580 戸、総世帯数は 18,510 世帯となっています。平成 25 年と比べて、それぞれ 1,020 戸、380 世帯の減少となっています。また、平成 10 年の総住宅数 (21,210 戸) と比べると、約 1.1 倍となっています。

平成 30 年は、総住宅数が総世帯数を 4,070 戸上回り、1 世帯あたりの住宅数 (総住宅数÷総世帯数) は 1.22 戸となっています。

表 1. 総住宅数及び総世帯数の推移

年 別	総住宅数 戸	増減数 戸	増減率 %	総世帯数 戸	増減数 戸	増減率 %	1 世帯あたり 住宅数 戸
平成 10 年	21,210	-	-	18,550	-	-	1.14
15 年	23,370	2,160	10.2	19,230	680	3.7	1.22
20 年	22,780	△ 590	△ 2.5	18,390	△ 840	△ 4.4	1.24
25 年	23,600	820	3.6	18,890	500	2.7	1.25
30 年	22,580	△ 1,020	△ 4.3	18,510	△ 380	△ 2.0	1.22

図 1. 総住宅数及び総世帯数の推移



総住宅数の17.4%が空き家

総住宅数のうち、居住世帯のある住宅は18,510戸で、総住宅数の82.0%となり、空き家などの居住世帯のない住宅は4,070戸で、総住宅数の18.0%となっています。

居住世帯のない住宅のうち、空き家についてその推移をみると、平成10年には2,520戸（総住宅数の11.9%）でしたが、平成30年には3,930戸（同17.4%）と増加しています。

表2. 居住世帯の有無別住宅数の推移

年 別	総住宅数	居住世帯あり 総 数	居 住 世 帯 な し			
			総 数	うち一時 現在者のみ	うち空き家	建築中
平成10年	21,210	18,550	2,660	80	2,520	60
15年	23,370	19,230	4,140	90	3,930	120
20年	22,780	18,390	4,390	110	4,220	60
25年	23,600	18,890	4,710	190	4,460	60
30年	22,580	18,510	4,070	40	3,930	100

図2. 空き家の推移

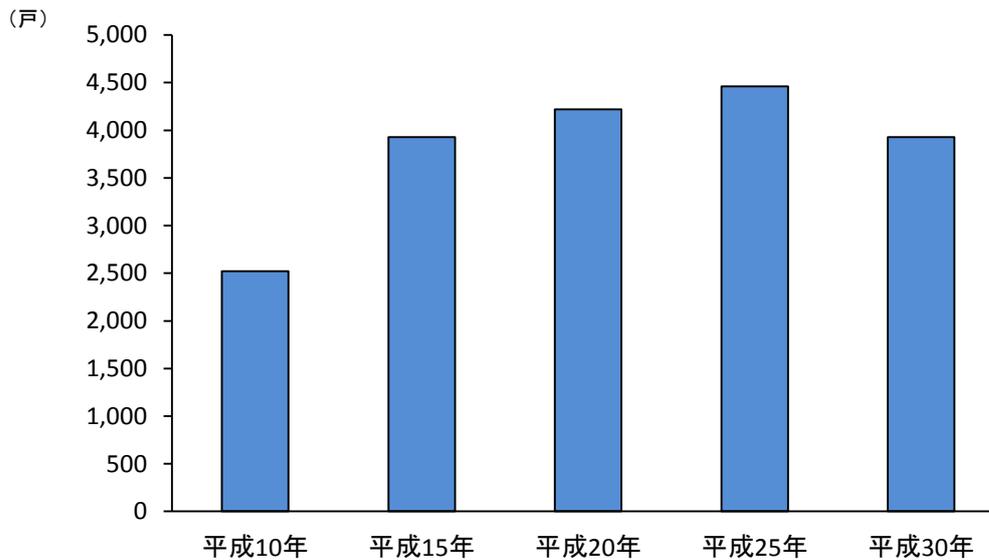
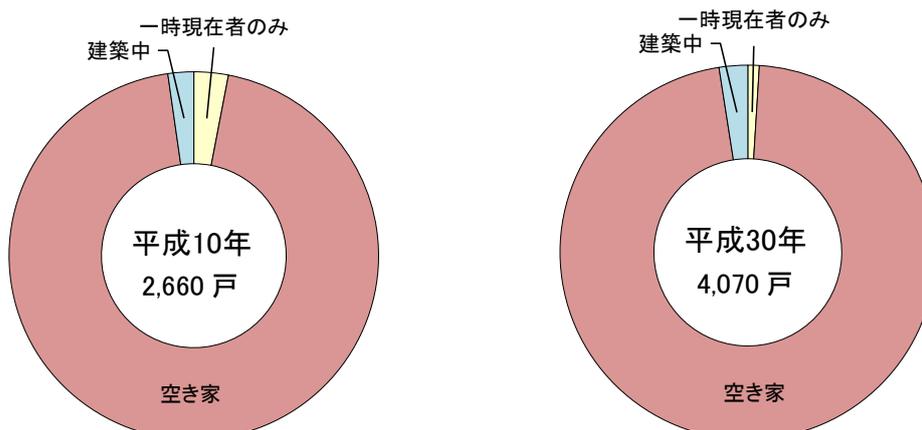


図3. 居住世帯のない住宅の内訳（平成10年、平成30年）



「専用住宅」が住宅全体の97.5%を占める

居住世帯のある住宅 18,510 戸を住宅の種類別にみると、居住専用に建築された「専用住宅」が 18,050 戸、居住部分が「店舗その他の併用住宅」が 460 戸となっており、専用住宅が住宅全体を占める割合（97.5%）が高くなっています。

一方、「店舗その他の併用住宅」（農林漁業併用住宅を含む）の占める割合は低下を続け、平成 30 年では 2.5%となっています。

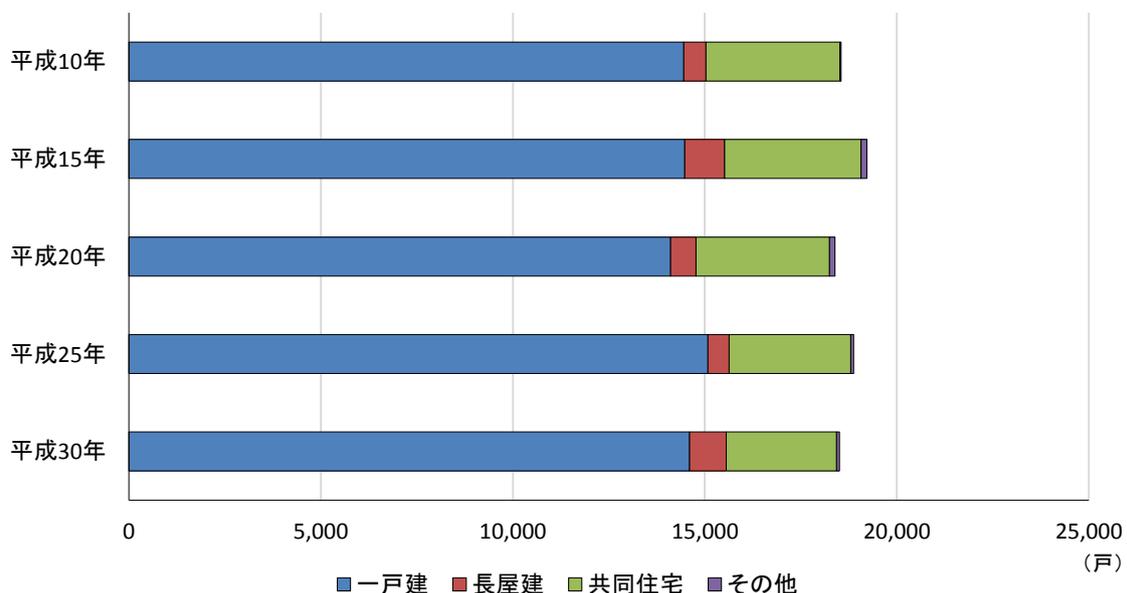
およそ6戸に1戸は共同住宅

居住世帯のある住宅を建て方別にみると、「一戸建」が 14,600 戸で住宅全体の 78.9%となり、「長屋建」が 960 戸で 5.2%、「共同住宅」が 2,870 戸で 15.5%となっています。

表 3. 住宅の建て方別住宅数の推移

年 別	住 宅 数 (戸)				
	総 数	一戸建	長屋建	共同住宅	その他
平成 10 年	18,550	14,450	580	3,490	30
15 年	19,230	14,480	1,040	3,550	150
20 年	18,390	14,110	660	3,480	140
25 年	18,890	15,080	550	3,170	80
30 年	18,510	14,600	960	2,870	80

図 4. 住宅の建て方別住宅数の推移



防火木造の割合が上昇

居住世帯のある住宅を構造別にみると、「木造」が3,540戸で住宅全体の19.1%、「防火木造」が11,320戸で61.2%、鉄筋・鉄骨コンクリート造等の「非木造」が3,650戸で19.7%となっています。

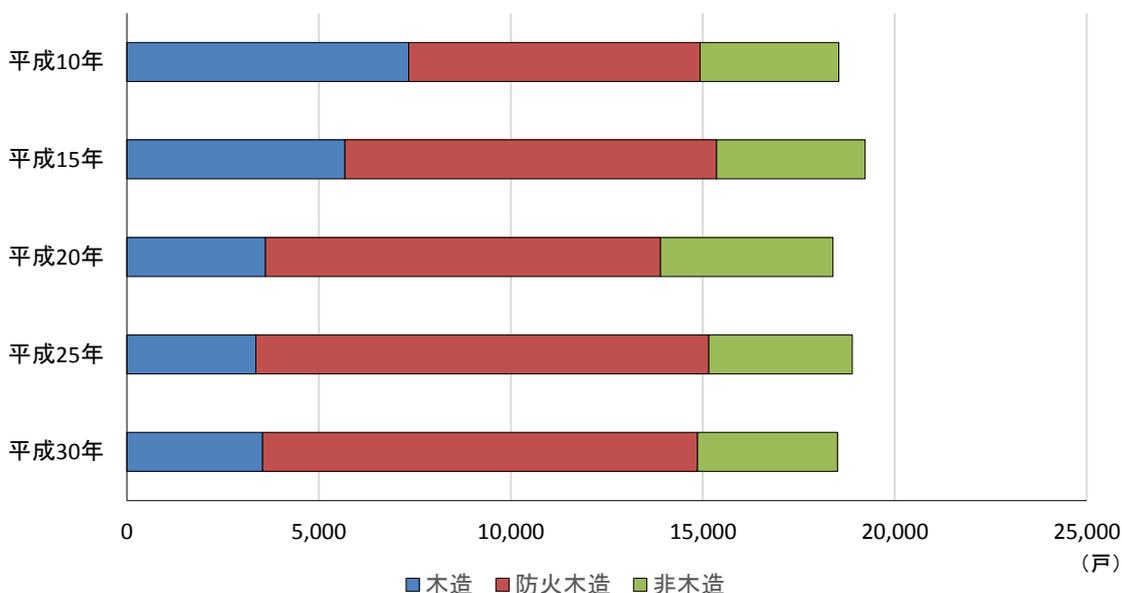
構造別割合の推移をみると、「木造」の割合が平成10年の39.6%から19.1%に低下した一方で、「防火木造」は平成10年の40.9%から61.2%と上昇しています。

また、住宅の構造を建て方別にみると、「一戸建」住宅のうち、94.5%を木造（防火木造を含む）建築住宅が占めています。これに対し、「共同住宅」では木造（防火木造を含む）建築住宅では15.3%に過ぎず、鉄筋・鉄骨コンクリート造（鉄骨造を含む）が84.7%となっており、「共同住宅」の非木造化が進んでいることがわかります。

表 4. 構造別住宅数の推移

年 別	住 宅 数 (戸)			
	総数	木造	防火木造	非木造
平成10年	18,550	7,340	7,590	3,610
15年	19,230	5,680	9,680	3,870
20年	18,390	3,610	10,290	4,490
25年	18,890	3,360	11,800	3,730
30年	18,510	3,540	11,320	3,650

図 5. 住宅の建て方別住宅数の推移



持ち家住宅率は 74.6%

専用住宅数を所有の関係別にみると、「持ち家」が 13,470 戸で、住宅全体に占める持ち家の割合（持ち家住宅率）は 74.6%となり、「借家」が 4,220 戸で 23.4%となっています。

持ち家住宅率の推移については、平成 10 年から上昇を続けていましたが、平成 30 年は前回と比べ 2.6%の減少となっています。

表 5. 住宅の所有の関係別住宅数の推移

年 別	住 宅 数 (戸)		
	総数	持ち家	借家
平成 10 年	17,610	12,240	5,370
15 年	18,080	12,720	4,940
20 年	17,640	12,900	4,680
25 年	18,210	14,060	3,990
30 年	18,050	13,470	4,220

(注) 総数には、住宅の所有関係「不詳」を含む

図 6. 持ち家住宅率の割合の推移

